

1 題材 めざせ！エコ・ピカ名人 内容A－（4）イ （関連項目 B－（4）イ）

2 指導観

・題材観

住まいは、人間らしく生きるための生活の場であり、私たちにとって安全で健康的で快適な生活を支えてくれる大切なものである。しかし近年、社会の急激な変化は、私たちの住生活にも大きな影響を与えている。省エネルギー、快適性、建築コストの削減などを求めたことから、現代の住まいは気密性が高まり、さまざまな建築材料が使用されるようになってきた。また、家族の生活スタイルの変化から、窓の開放時間が非常に少ない閉鎖型の住まいが多くなってきている。このような背景から、住まいが原因となるアレルギーの発生も問題となってきた。人のフケ、ダニの死骸やフン、カビの胞子がアレルギー性鼻炎、気管支喘息、アトピー性皮膚炎などに影響を与えるアレルゲンとなっている。よって、家族が健康で快適に住まうためには、室内を衛生的な状態にする必要がある。そこで、室内の汚れの点検・調査や清掃の工夫、改善をさせることにより、住まいは少しの工夫で清潔にすることができることに気付き、快適な住まい方を実践できる力を身に付けることは大切である。さらに、住居用洗剤による人体や環境への影響も問題となってきた。そこで、人体に安全な環境に配慮した室内整備の方法を知ること重要であると考え、キーワードを「エコ（環境）・ピカ（清潔）」として、この題材を設定した。

・生徒観

事前アンケートによると、住生活の学習に興味がある生徒は非常に少なかった。家庭の中の住生活の仕事として家の清掃を行う生徒は、「週に1回」が45%で、「週に2～3回」が30%、「毎日」が10%、「しない」という生徒が15%だった。清掃をする場所はほとんどが「自分の部屋」のみで、家で自分の仕事として決まっている生徒が多い。清掃をする理由として、「そうじをしないと汚くなるから」という意見がある一方、「親に言われるから仕方なく」という意見も目立ち、清掃の必要性を認識している生徒は少ない。また、清掃方法として、汚れに合った用具や洗剤を選ぶということまで考えて行っている生徒は非常に少なかった。

・指導観

そこで指導に当たっては、まず汚れの付着した換気扇を提示し、教室内や自分の住まいの汚れを想起させる。汚れによる健康被害の資料や清掃失敗例の実演を参考に、清掃・手入れの必要性及び汚れに合った用具や洗剤を選ぶことの大切さを理解させる。また、住居用洗剤による環境や人体への影響を過去の事故例により知らせ、環境に配慮した安全な清掃が求められていることについて理解させる。環境に配慮した安全な清掃方法を実習により体験的に学ばせるとともに、課題を解決する過程で簡単な清掃用具の製作を取り入れることにより実生活へ生かす手立てとしたい。実習や製作・実践カード記入の場面でグループ検討や相互評価を行い、個の気付きを互いに学びあえるようにし、一人一人がさらによりよい清掃方法を工夫しながら、実生活に応用できるようにしたい。さらに、表示を確認することや用具や洗剤の工夫で環境に影響を与えるものの使用を削減させることで、環境に配慮しながら室内環境を整えられる態度を身に付けさせたい。

3 指導目標

- ・ 室内の汚れに関心を持ち、進んで清掃に取り組ませる。 (関心・意欲・態度)

- ・ 汚れの種類や材質（場所）に応じた清掃や健康や環境に配慮した清掃を考えさせる。  
(工夫・創造)
- ・ 汚れの種類や材質（場所）に応じて、用具や用剤を安全に取り扱いながら実践できるようにする。  
(技能)
- ・ 清掃の必要性に気づき、汚れの種類や材質（場所）に応じた具体的な方法を理解させる。  
(知識・理解)

#### 4 題材の評価規準

関心・意欲・態度	工夫創造	技能	知識・理解
ア 室内の清掃に関心をもち、清掃や製作に意欲的に取り組んでいる。 イ 学習したことをもとに、学校や家庭で実践しようとしている。	ア 自分が清掃しやすいように用具・方法を考えることができる。 イ 家族の健康や環境への影響に配慮した家庭での清掃方法を工夫することができる。	ア 汚れの種類や材質（場所）に応じて、用具や用剤を安全に取り扱いながら清掃することができる。 イ 健康や環境に配慮した清掃用具を製作することができる。	ア 汚れの種類や材質（場所）に応じた適切な方法及び住居用洗剤表示の見方を理解している。

#### 5 指導計画（全3時間）

学びの過程	学習内容	時配	教師の主な支援	評価規準
気付く	ピカ名人の秘密を探ろう	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 汚れの観察や清掃の失敗例を参考に、汚れの種類や材質に応じた清掃が必要であることを確認する。</li> <li>・ 安全に使用するための表示の見方を、洗剤見本を用いて説明する。</li> </ul>	関心・意欲・態度 知識ア
見通し・追求する	清掃の必要性に気づき、汚れの種類や材質に応じた清掃方法を考えよう。	1		
	エコ・ピカ名人への準備をしよう！ 手軽な清掃用具を製作しよう。	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合成洗剤の使用による健康への影響を例示し、身近な材料を使った清掃用具や自然のものでも汚れが落ちることを伝える。</li> <li>・ 動画や見本を用いて、製作過程を示す。</li> </ul>	工夫創造ア 技能イ
まとめ・広げる 見つけ・生かす	エコ・ピカ名人になろう！ 製作した清掃用具を使い、清掃をしよう。	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境に配慮した清掃でも汚れが落ちることを、製作した用具で実際に清掃することにより確認し、実践への意欲付けを行う。</li> </ul>	関心・意欲・態度 工夫創造イ 技能ア

#### 6 本時の指導 〈第1時〉

(1) 本時の目標

- ・ 清掃の必要性に気付き、汚れの種類や材質に応じた清掃方法を理解することができる。

(2) 本時の評価規準

- ・ 室内の汚れに関心をもっている。 (関心・意欲・態度)
- ・ 汚れの種類や材質(場所)に応じた適切な方法、住居用洗剤表示の見方を理解している。 (知識・理解)

(3) 本時の学習指導過程

過程	学習活動	教師の指導・支援	評価とその支援
課題の把握	1 教室内や自分の住まいの汚れを確認し、清掃の必要性を理解する。	1-1 汚れた換気扇を示し、油とほこりで汚れていることを伝える。 1-2 セロハンテープを使い教室内の汚れを収集し、視覚により汚れの実態を確認させ、学習の動機付けを行う。	【関心・意欲・態度(ア)】 室内の汚れに関心を持っている。〈観察〉 →汚れが付きやすい場所を示す。
	2 本時の学習目標を把握する。	2-1 プレゼンテーションソフトを利用し、汚れからくるダニやカビを映像により確認させる。また、ダニアレルギーなどの健康への影響を映像で示し、学習目標に結び付ける。	
ピカ名人の秘密を探ろう！（清掃方法を考えよう）			
課題解決の準備・実践	・「ピカ名人」とは、掃除をきれいにする人であることを知る。		
	3 清掃の基本的な方法を知る。 ・換気扇の汚れをとる方法を考える。 ・洗剤の表示確認の必要性を知る。	3-1 換気扇の清掃における失敗を実演し、方法を間違えると汚れが取れないことに気付かせる。また、汚れに合った洗剤を用いると汚れが取れることを実演し、実践方法を方向付ける。 3-2 洗剤を選択する必要性に気付かせるために、洗剤の見本を示し、多数の種類や用途があることを知らせる。 3-3 洗剤の使用による過去の事故について、プレゼンテーションソフトを用いて症状や危険性を説明する。	【知識・理解(ア)】 汚れの種類や材質(場所)に応じた適切な方法、住居用洗剤表示の見方を理解している。〈ワークシート〉 →洗剤見本の用途を確認させる。
4 住まいの汚れを清掃するための方法(用具・方法)を考える。 ・ほこり ・油汚れ	4-1 グループで検討することにより、個人の考えを互いに深められるようにする。		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水あか</li> <li>・カビ</li> </ul>		
評価・実践化	5 清掃方法を確認する。	5-1 洗剤見本を示すことにより，清掃方法を確認し，清掃のポイントをまとめる。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚れや材質に合った清掃用具と洗剤を使う。</li> <li>・洗剤の表示を確認する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">混合使用をしない。                      標準使用量を守る。</p>		
	6 次時の活動を確認する。	6-1 次時は，「エコ・ピカ名人に挑戦しよう～手軽な清掃用具を作ろう～」であることを知らせ，環境に配慮した用具や洗剤の一部を紹介し，次時への意欲付けを行う。	

〈第2時〉

(1) 本時の目標

- ・ 快適な住まいにするための，健康や環境に配慮した清掃用具を目的に応じて製作することができる。

(2) 本時の評価規準

- ・ 健康や環境に配慮した清掃用具を使用目的に応じて工夫している。 (工夫創造)
- ・ 健康や環境に配慮した清掃用具を製作することができる。 (技能)

(3) 本時の学習指導過程

過程	学習活動	教師の指導・支援	評価とその支援
課題の把握	1 清掃のための洗剤による体への影響を知る。	1-1 洗剤の中には，人体や環境へ影響を与えるものがあることを分かるように，健康被害の例を写真で示す。	
	2 今までの家庭や学校での清掃の中で，洗剤を使わずに清掃をしたことがなかったか振り返る。	2-1 歯ブラシやナイロンたわしなど身近なものを例に示す。 2-2 毎日の清掃を行うことで簡単に汚れが落ち，洗剤を使わない環境への配慮につながることを知らせる。	
	3 本時の学習目標を確認する。		
エコ・ピカ名人への準備をしよう！（手軽な清掃用具を作ろう）			
	4 清掃用具を製作する。 ・清掃する場所や汚れを考えながら製作する。	4-1 身近な材料（ペットボトル・割りばし・針金ハンガー・古布・アクリル毛糸・ポリエチレン製ひも等）を使って，	【工夫創造(ア)】 使いやすいように用具を考えている。〈製作物〉

課題解決の準備・実践	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">           アクリルたわし すきま掃除棒 はたき モップ         </div>	<p>手軽に製作できる清掃用具があることを知らせる。</p> <p>4-2 4種類の用具の中から、各自の必要性に応じて自由に選択させる。</p> <p>4-3 机間指導により、清掃のしやすさは持ち手や形を工夫することで変わることを助言する。</p> <p>4-4 アクリルたわしの作り方については、製作手順が理解できるように動画で提示する。</p>	<p>→形や長さを考えさせる。</p> <p><b>【技能(イ)】</b> 環境に配慮した清掃用具を製作することができる。 (製作物) →実物を示し、製作手順を確認する。</p>
評価・実践化	<p>5 製作した用具の使用方法を確認する。</p> <p>6 次時の活動内容を確認する。</p>	<p>5-1 製作物を賞賛し、次時への意欲付けを行う。</p> <p>6-1 次時は、本時に製作した用具を使って清掃を行う「めざせ！エコ・ピカ名人～製作した用具を使って清掃をしよう～」であることを伝える。</p>	

〈第3時〉

(1) 本時の学習目標

- ・ 製作した用具を使った清掃を参考に、家庭での実践方法を考えることができる。

(2) 本時の評価規準

- ・ 清掃に意欲的に取り組み、学校や家庭で実践しようとしている。 (関心・意欲・態度)
- ・ 家族の健康や環境への影響に配慮した家庭での清掃方法を工夫している。 (工夫創造)
- ・ 製作した用具を使い、安全に気を付けながら清掃を行うことができる。 (技能)

(3) 本時の学習指導過程

過程	学習活動	教師の指導・支援	評価とその支援
課題の把握	<p>1 前時に製作した用具を確認する。</p> <p>2 本時の学習目標を確認する。</p>	<p>1-1 製作した用具を確認することで、清掃への意欲付けを行う。</p> <p>2-1 製作した用具を使い、健康や環境に配慮した清掃を行うことを確認する。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">           エコ・ピカ名人になろう！～健康や環境に配慮した清掃をしよう～         </div>			

課題解決の準備・実践	<p>3 清掃する場所・方法を確認し、清掃を行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・床</li> <li>・机</li> <li>・窓ガラス</li> <li>・壁</li> <li>・流し</li> </ul> </div> <p>4 清掃結果を確認する。</p>	<p>3-1 同じ用具を製作した生徒 2～3 人程度を 1 グループとして清掃させることで、効率的な清掃を行わせる。</p> <p>3-2 用具の他にも環境に配慮した洗剤があることに触れる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クエン酸</li> <li>・酢</li> <li>・重曹</li> </ul> </div> <p>4-1 特によく汚れが落ちたものや使いやすかった清掃用具の工夫を紹介する。</p>	<p><b>【技能(ア)】</b> 製作した用具を利用して安全に取り扱いながら清掃できる。〈観察〉 →グループで確認し合いながら作業させる。</p>
評価・実践化	<p>5 エコ・ピカ名人の住まいの清掃のポイントをまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汚れ・材質に合った清掃用具と洗剤を使う。</li> <li>・上から下へ、ついたらすぐに行く。</li> <li>・表示をよく確認し、安全に注意して行う。</li> <li>・健康や環境に配慮した清掃を行う。</li> </ul> </div> <p>6 実践カードに計画を記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達へのアドバイス記入により、計画を相互評価させる。</li> </ul> <p>7 次時の学習内容を知る。</p>	<p>5-1 各（1～3）時間の作業手順を提示し、学習内容を再確認する。</p> <p>6-1 学校内の日常の清掃活動にも健康や環境に配慮した清掃方法を実践していくよう促す。</p>	<p><b>【関心・意欲・態度(イ)】</b> 家庭での実践に向けて、実践カードに記入している。〈実践カード〉 →清掃ポイント，製作した用具を確認させる。</p> <p><b>【工夫創造(イ)】</b> 家族の健康や環境への影響に配慮した家庭での清掃方法を工夫している。 〈実践カード〉 →家庭での清掃場所を具体的に示し，材質・汚れを確認する。</p>